

長浜まちづくりセンターの新たな取組

事業名

馬 島 探 検

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- (1) 長浜地区まちづくり計画をもとに、地域住民が海の大切さを再認識し、灯台や島の歴史を学ぶことで更に関心を高める。
- (2) 馬島周辺の海岸への漂着物を調査して環境問題について考える。
- (3) 海上から郷土を眺めることで、ふるさとへの愛着を深め郷土に誇りを持つ。
- (4) 水産高校や浜田海洋少年団などの団体と連携・協力し、地域との関係性を深める。

D

事業の概要

8月8日 9:30~14:00 （参加者：海洋少年団員とその保護者17名）

参加児童は、浜田水産高校の生徒からロープワークの実技指導を受けた後、船で馬島へ向かう。到着後、島周辺の漂着物を調査し、巖島神社を見学。島内を歩いて灯台を目指す。灯台施設を見学しながら昼食をとり、船で水産高校へ戻る。

- ・子ども達が積極的に活動に取り組む様子から、浜田市が提唱する海洋教育の理念を理解させるための興味付けにはなったと思われる。
- ・当日は台風と高潮のため安全を最優先と考え、漂着物調査に十分な時間がとれなかったが、あらかじめ天候不良時のメニューを用意していたので、対応することができた。

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

							○			
--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--

上記評価の理由

参加者の学びが深まり、海洋ゴミへの関心が高まったと共に、今回参加出来なかった地域住民の中に事業に興味関心を持つ人が増えた。また、協力機関である浜田水産高校職員による評価も高かった。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと(評価を10に近づけるために)

- ・安全面を最優先に、関係機関と十分な打ち合わせを行い、不測の事態を想定しながら取り組む。
- ・まちづくり推進委員会や他団体とも連携し、定期的実施することで地域住民の学びを深め、事業を協働の場とする。

